

丸の内会場
+ オンライン
同時開催

コーポレートガバナンスとITガバナンスの同期

日時

2025年3月27日(木) 15:00~16:30 (受付開始 14:30)

※ オンラインでの同時配信を実施します。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会員 3,300 円 / 一般 6,600 円 (税込) ※ 事前のオンライン決済をお願いいたします。

2023年4月26日、経済産業省公表の「システム監査基準」及び「システム管理基準」が改訂されました。この「改訂システム管理基準」の特徴は前文において、ITガバナンスをコーポレートガバナンスと同期するものとしていることです。更にITガバナンスを「取締役会等が組織体のITシステムの利活用に関して責任を負う領域」と捉え、「経営者がITシステムの利活用について責任を負う領域」であるITマネジメントと明確に区別しています。また大量かつ多様な情報の経営資源としての利活用を最適化すべく、情報システム全体を計画から廃棄に至るライフサイクル全体として管理することが「ITシステムの利活用」の前提であることも示唆しています。

そこで今回のセミナーでは、当該分野に造詣の深い石島教授をお招きし、① 組織体の目標を含むIT戦略(ITガバナンス方針とIT基本計画)、② 必要な実行組織の設置と適切な権限委譲、③ 経営者による実行状況のモニタリングの3点に着目し、取締役会等が果たすべきITガバナンスに係る役割について、事例を交えながら解説していただくこととなりました。

当日は、当研究会代表理事の大谷剛との対談を通じて、参加者の皆さまと一緒に議論を深めてまいりますので、是非ご参加ください。

講師

石島 隆 (いしじま たかし)氏

法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授

1980年、中央大学商学部会計学科卒業。1983年、公認会計士登録。監査法人サンワ東京丸の内事務所(現有限責任監査法人トーマツ)、株式会社オービックビジネスコンサルタントを経てセンチュリー監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)入所。1998年、同代表社員。2003年、大阪成蹊大学現代経営情報学部(現経営学部)助教授。2007年より法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授(現在に至る)。2003年より三栄源エフ・エフ・アイ株式会社社外監査役、2010年よりアルテ監査法人パートナー、2012年より金融庁契約監視委員会委員(2023年より委員長)、日本金融監査協会事務局長、2017年より巢鴨信用金庫非常勤理事、2019年よりシステム監査学会会長(2023年6月まで)、株式会社未来樹脂社外取締役等を兼務。2022年経済産業省・システム監査に関する検討会座長(2023年3月まで)。



今後の勉強会予定

第161回

【題目】コーポレートガバナンス新時代の経営人材育成

4月16日(水)16:00開始

【講師】齋藤 卓爾 氏(慶應義塾大学 経営管理研究科 教授)

お申込み

詳細はご案内メールに記載しております。メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

